

明日にかける橋 1989年の思い出 (2018)

メディア 映画

ジャンル ドラマ SF

製作国 日本

時間 131分

初公開日 2018/06/30

公開情報 渋谷プロダクション

映倫 G

【キャッチコピー】

あの懐かしい時代に戻れ！
家族の悲しみを止めるために

【解説】

「朝日のあたる家」「向日葵の丘 1983年・夏」の太田隆文監督が静岡県を舞台に贈るタイムスリップ・ヒューマン・ドラマ。主演は鈴木杏、共演に板尾創路、田中美里、越後はる香。2010年、静岡県のとある町。OLの吉行みゆきは、20年前に弟を事故で亡くして以来、母は精神を病み、父は会社が倒産して酒浸りの日々で、家族はすっかりバラバラになってしまっていた。ある日、父が亡くなり、通夜の夜に、全力で走って渡れば願いが叶うという“明日橋”を渡ったところ、1989年にタイムスリップしてしまう。そしてそこで、若かりし両親と、生前の弟と出会うみゆきだったが…。

【クレジット】

| | | | |
|---------------|--------|-------------|------------|
| 監督 | 太田隆文 | | |
| アソシエイトプロデューサー | 小林良二 | | |
| 脚本 | 太田隆文 | | |
| 撮影 | 三本木久城 | | |
| 美術 | 竹内悦子 | | |
| 衣裳 | 丸山江里子 | | |
| 編集 | 太田隆文 | | |
| 音楽 | 遠藤浩二 | | |
| 照明 | 石川欣男 | | |
| 録音 | 植田中 | | |
| ヘアメイク | 大久保恵美子 | | |
| 整音 | 丹雄二 | | |
| 効果 | 丹雄二 | | |
| 助監督 | 富澤昭文 | | |
| 出演 | 鈴木杏 | Anne Suzuki | 吉行みゆき |
| | 板尾創路 | | 吉行冬樹 |
| | 田中美里 | | 吉行桐子 |
| | 越後はる香 | | 少女時代の吉行みゆき |
| | 藤田朋子 | | 里美先生 |
| | 宝田明 | | 尾形社長 |
| | 田崎伶弥 | | |
| | 草刈麻有 | | |

富田佳輔
長澤凜
弥尋
山下慶
山本淳平
天玲美音
亜湖
栩野幸知
宮本弘佑
岡村洋一
嵯峨崇司
増田将也
本間ひとし
真木恵未
遠藤かおる